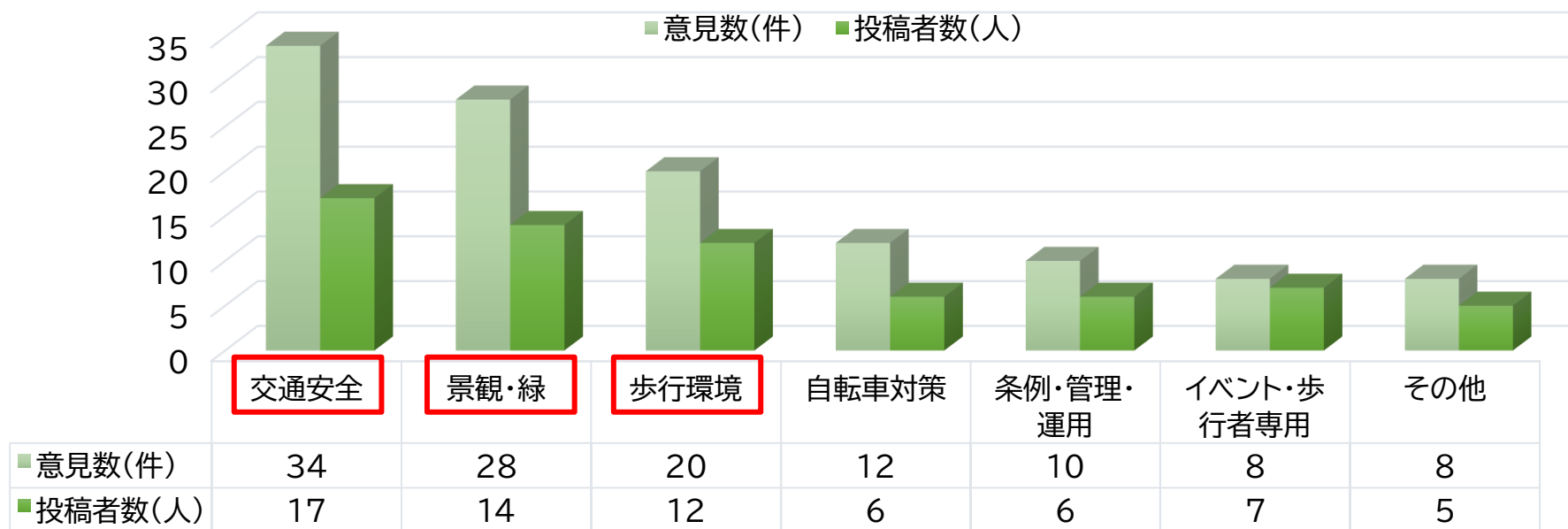


○ 第3回意見募集 質問① 投稿内容の集計結果

質問①あなたが考える“歩きやすい”・“歩きたくなる”道やまちは、具体的にどのような道やまちですか？
具体的な場所や取り組みもぜひ教えてください！

テーマ別の意見集計結果（意見数120件）



※意見数(件)：投稿内の意見を数えた件数です。1つの投稿に複数の意見が含まれた場合、それぞれ1件として集計しています。

※投稿者数(人)：テーマに投稿された人数です。1人で1つのテーマに複数投稿されている場合、そのテーマにおいては、1人として集計しています。

今回の意見募集では、“歩きやすい”・“歩きたくなる”道について「交通安全」、「景観・緑」、「歩行環境」について多くのアイデアをいただきました！

○ 第3回意見募集 質問① 各テーマの具体的なご回答内容

交通安全

道路の見通し確保、歩道の横断箇所の改善、路面対策など安全に通行できる道

- 見通しがよく、明るく、子どもや女性、高齢者、障害者、誰もが安心して通れる安全な道。段葛をイメージするような公道。
- 道路に凸をつける 横断歩行者が安全に横断できるようにする。ヨーロッパやカナダ、北欧では当たり前
- 鎌倉市内の街灯のLED電球の色温度をもっと暖かい白熱電球色の2300ケルビンぐらいに変えれば世界にも恥ずかしくない観光都市としての夜間景観が出現する。

景観・緑

街路樹や草花による植栽、建物の外観の配慮によって歩くだけで心地よい道

- 没入感があるエリアを設ける。若宮大路沿いの建物の外壁色の統一や屋根を銅板葺、瓦葺にする等。
- 川越のような街並み。
- 緑が豊か。沿道に野草がある。
- ツツジや紫陽花、桜などの季節に応じた花が咲き、どの時期に歩いても華やかな道。
- 千葉県つくばエクスプレス、柏の葉キャンパス駅のアクアテラス、T-SITEにかけてのエリア。水と緑とカフェが理想的に配置されている。
- 路地、裏道が魅力的。路地を残してほしい。

歩行環境

ベンチやトイレ、木陰、段差の解消など歩きやすさを支える設備が整えられた道

- 観光スポットから次のスポット・駅へ移動する道に適宜ベンチを置く。
- 疲れた時に休める場所が必要。ベンチ、カフェ、トイレ、木陰。
- 生活道路であれば、無理に片側1車線確保しないで、歩道を確保した道路でもいいのでは。単なる通過車の侵入も減ると思う。
- 車いすやベビーカーが楽に通る、すれ違える道。安全な段差のない歩道。

自転車対策

自転車専用道路や駐輪場の整備、駅前の動線整理等、自転車と歩行者が安全に通行できる道

- 由比ヶ浜、材木座などの海岸に自転車専用道路を作る。江ノ島まで続き、その先の藤沢、辻堂、茅ヶ崎などへも繋げる。
- 自転車の不法行為対策
- 自転車と歩道の分離
- 駅前駐輪場の整備

条例・管理・運用

条例等の法整備や運用、管理を通して景観と安全が守られた道

- 風致地区条例の適切な運用や規制の強化による接道緑化の確保
- 無秩序な出店や広告をなくし、歴史と自然がまざる美しい景観が作られ、保たれる道。

歩行者専用化

歩行者天国の実施、道の名前・案内表示の工夫、イベント等の賑わいづくりによる人が歩きたくなる空間づくりがされた道

- (川崎市では)車通りが問題となっており、歩行者天国を試験的に実施する。
- 休日には、歩行者専用道として開放する道を作る。
- 道路に徒歩分数や矢印を描いて混交スポットへの案内をわかりやすくする。
- 歩いてみようかなと思ってもらうために「通り」に愛称をつける。

○ 第3回意見募集 質問② 皆さんのアイデア

② 鎌倉が、みなさんの生活と共生する、“歩いて観光するまち”になるためには、具体的にどのような取り組みが必要だと思いますか？

- デザイン思考を組み入れたワークショップをテーマごとに市内外の人々で行う。
- ペイポイントの洗い出し。市民にとって何か『不』なのか、実際に市民をインタビューーとして読んで同行実地調査とともに取り組んでほしい。
- モデルコースや看板、コース地図などを地域住民と一緒に作ると良い。

参加促進

市民参画の取組や分かりやすい広報で、多様な意見を取り入れながら施策を検討する

- 切通は歩くことで歴史や地理を知ることができるだけでなく、切通という鎌倉への出入り口という本来の役割を現在でも果たすことが可能なので、道の整備や切通に出入りする公式ルートの設定が必要。
- ハイキングコースおよび切通の道の整備が必要。ハイキングとしてはもちろん、分散につながるルートがいくつもある。
- 非公式なハイキングコースを整備(看板やコース地図など)し、そちらに誘導する。
- 『こんな道があるのか』というようなモデルコースがたくさんあれば“歩いて観光したくなるまち”になり、リピーターも増える。

体験向上

切通しやハイキングなどの地域資源を生かしたモデルコースの案内等で、歩く観光体験を豊かにする

安全・防災

災害時の避難や日常の通行安全を高め、安心して歩ける環境を作る

- 地震時の津波対策として、いまいる場所での逃げ場所案内を充実していく
- 由比ヶ浜大通り、鎌倉葉山線の無電柱化、裏通りとなる小町大路等のスピード規制、通学時間帯の一方通行化

快適性

休憩やトイレ等の設備を整え、誰もが快適に歩ける環境を作る

- 歩いて観光するために、道すがら休憩できるベンチがあると嬉しい。歩道の狭さから難しいと思うが、東京大手町のように歩道、ベンチ、緑、車道という地域を作る。
- 綺麗な授乳室やおむつ交換台の整備。
- 無電柱化の推進。地上に歩けるスペースを作り出し、それを活かすステップが必要。
- 公衆便所、ベンチの設置。

アクセス

通行規制や専用レーン、マイクロモビリティの活用による移動しやすさの向上

- 若宮大路の一般車両通行の禁止。鎌倉市外の車に対する通行税。交通網の拡充。観光バスの市街中心部への乗り入れ禁止。
- 公共交通機関や自転車を分ける専用レーン設置。
- マイクロモビリティの活用を拡大。駐輪場などのベースとなる拠点を一定距離で配置、そこを中心に『歩く』と考える。
- 今ある片側一車線の道路を一方通行にして歩道を広げる。

全3回にわたり多くのご意見をいただき誠にありがとうございました！